

ピアネット monthly June. 2017

ピアネット・マンスリーの発行について



ピアネット・マンスリーは各団体の活動状況に合わせて定期的に発行していきます。《ピアネット事務局》

【課外教養プログラム（学生センター）】

「早稲田の恋愛学から学ぶ！恋愛市場における上手なアピール法」を実施しました

5月10日（水）、多摩キャンパスにて「早稲田の恋愛学から学ぶ！恋愛市場における上手なアピール法」を実施しました。早稲田大学で恋愛を学術的に研究されており、また恋愛に関する数々の著書が出版されている森川友義教授に講師を依頼しました。当プログラムでは、大学生にとって身近な悩みである恋愛をテーマに取り上げて、恋愛を学問として学びました。プログラムは講義とグループワークに分けて実施しました。講義では異性に自分を上手くアピールする方法を、森川教授が特許を所有する恋愛学に基づいて教えていただきました。その中でも森川教授が提唱されており、自分と同じ魅力度をもつ異性と結ばれるという恋愛均衡説中心に解説をしていただきました。その後、参加学生はグループに分かれて森川教授が用意してくださったワークシートを使用して、自身の恋愛偏差値を測り、魅力が足りない要素を考えました。全体を通して森川教授と参加学生の掛け合いで進んでいき、終始和やかな雰囲気で行うことができました。プログラム終了後、森川教授のもとに恋愛に悩んでいるたくさんの学生が駆け寄って相談をしている光景も印象的でした。参加学生のアンケートでは、「法政大学では受けることにできない授業が受けられて良かった」、「恋愛において自身の改善点がわかった」などの感想が集まりました。今回は68人参加というKYOPROのプログラムでも最多数の人気プログラムとなりました。参加学生にはこれからの恋愛において、当プログラムで学んだ上手なアピール方を積極的に実践していくことでぜひ素敵な恋をしてもらいたいです。KYOPROスタッフとしても、当プログラムのように学生にとって身近な問題を解決できるようなプログラムを今後も制作していきたいと改めて感じることができました。



講師によるアドバイス



質疑応答



集合写真

【ボランティアセンター】

「ブラインドサッカーから学ぶチームビルディング」を実施しました

東京2020応援プログラム「ブラインドサッカーから学ぶチームビルディング」を5月22日に市ヶ谷ボランティアセンターで実施し22名の学生が参加しました。本プログラムは、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に「東京2020応援プログラム」として認定されました。ブラインドサッカーとは、アイマスクをつけ、音のなる特殊なボールを使うフットサルです。アイマスクをつけて視界を遮ることで、全員が公平な状態でプレーすることができます。今回の企画では、ブラインドサッカーを通じて、チームビルディングに必要なコミュニケーション法を体験すると同時に、「見えない」ことがどういうことかを体で感じることを主な目的としました。プログラム中に様々なワークを行いました。特に、「見える人」と「見えない人」が混ざって試行錯誤するワークは、チームビルディングを学ぶには最適な内容でした。このワークは、まず「見える人」4人が四角形の四隅に立ちます。その四角形の真ん中に「見えない人」が立ち、四隅の「見える人」が持っているボールにタッチしに行きます。ボールは4人のうち1人が持っていて、「見える人」は「見えない人」に掛け声や合図でボールの位置を伝えます。これを四角の中でパス回しをし、制限時間内に、何回タッチできるかを競うものです。参加者はこのワークの中で、どうすれば多くタッチできるかを、見える立場と見えない立場の両方の視点から考え、チーム内で議論を重ねました。最初は制限時間内に5回程度しかボールにタッチすることは出来ませんでした。最終的に15回程ボールにタッチすることができました。また、音だけを頼りにコーンにボールをあてるなどのワークも実施しました。本プログラムを通して、障害者と健常者の間の「見えない壁」を取り払い、視覚障害者との共生に関心をもってもらうこと、仲間が主体的に自分らしさ、多様性を発揮しつつ、相互に関わりながら一丸となって共通のゴールを達成しようとするチームビルディングを学ぶことができたと思います。



講師による説明



目隠した人が制限時間内にボールにタッチする回数を競うワーク



目隠した状態で音を頼りにコーンにボールをあてるワーク



【図書館】

多摩図書館のライブラリーサポーター（通称：ライサポ）が、「図書館や本についての新たな気づきのきっかけとなるように」と、新聞を作成しました！新聞の名前は「ライブラリー・タイムズ」です。2016年12月の初号について第2号となります。

本についての豆知識、ライサポおすすめ本、新入生歓迎企画について掲載しています。本好きな方もそうでない方も、きっと楽しめる内容となっていますので、ぜひご覧ください！

多摩図書館内ライサポコーナー（2F 階段踊り場）にも置いてあります。次号以降もぜひ楽しみに！

【FD推進センター】

～『学生FDスタッフだより』創刊号 法政大学の授業の魅力を紹介します！～

学生FDスタッフを中心となり、学生の身近にある学生生活に有用な情報紹介を内容とする『学生FDスタッフだより』の創刊号では、普段なかなか目につきにくい、各学部で実際に行われている授業の魅力を、学生FDスタッフがインタビュー形式で紹介しました。

『学生FDスタッフだより』を通じて、より多くの学生・教員・職員が協同で、法政大学全体の「学び」について考えるきっかけにことを切に願っています。ぜひ、ご一読下さい。



【学習ステーション】

「常駐アシスタント・プログラム」を実施しました

常駐アシスタント・プログラムでは、時事問題やマンガの名言に着目したもの、授業の内容についてディスカッションをするものまで幅広くプログラムを行いました。

参加学生からは「密な話し合いやディスカッションをする場があまりないので参加して良かった」「学生スタッフの活動にも興味を湧いた」といった声が寄せられました。

引き続き7月21日まで（月曜日～金曜日）プログラムを行う予定です。



【編集後記】

“ONE FOR ALL, ALL FOR ONE” というラグビーの合言葉があります。直訳すると「一人はみんなのために、みんなは一人のために」になります。ラグビーの場合、チームワークも大事だが、一人一人が支え合うこと・助け合うことも重要だ、ということからこの言葉がよく使われています。ピアネットも同様に沢山の個性を持った学生が集まっており、得意分野を活かし、不得意分野をそれぞれが支え合っているからこそ各ピアネットの団体が成り立っていると感じていますのでピアネットにも通ずる言葉だと思っています。

“ONE FOR ALL, ALL FOR ONE”、ぜひ、各ピアネットの合言葉にしてみたいはかがでしょうか。

ピアネット・マンスリーについてのご感想をお待ちしております。《事務局：堀越》

